

子育てから介護まで「ずっと伊丹で大丈夫!」と、はなせる街づくりを目指して。

伊丹市議会議員 / 無所属 / 33歳 やまぞの有理

【プロフィール】

1985年8月伊丹生まれ・天神川小・荒牧中学校を経て明治大学公共政策大学院修了 / 2011年伊丹市議会議員選挙において初当選(当時25歳最年少当選) 現在2期目 / マニフェスト大賞受賞(第11回・第12回と連続受賞) / パトランチーム伊丹広報担当 / 未生流(師範)・表千家 / わな狩猟免許 / 伊丹市女性消防団 /

このチラシは、伊丹市議会議員やまぞの有理が、市政情報や活動報告などをお届けしているニュースです。街頭活動・ポスティングの配布でお届けしております!



やまぞの有理



政策、ニュース、イベント告知など
やまぞの有理の情報はSNS等で
タイムリーに発信しています!!
ぜひフォローをお願いします



身近に感じて頂ける議員を目指し、 今後も活動を続けて参ります!

議員ってどんな仕事? 普段は何をしているの? 議員と聞くとメディアでの姿を想像される方も多いかもしれません。「政治とか難しそう」「議員と会ったことがない」そんな方もいらっしゃるかもしれません。そこで、もっと議員や政治を身近に感じてもらうきっかけになればと思い、普段から研修会や政策連携を深めている若手女性議員仲間を伊丹市にお招きし、議員の仕事や日頃の活動などのお話や、皆さんが日頃感じている疑問についてお答えする「ギインって何? 女性議員ぶっちゃけトーク!」イベントを2019年2月23日(土) きらら3階大ホールをお借りして開催しました。当日は市内外多くの方にご参加を頂き開催することが叶いました。今回は、イベントの開催報告と当日頂いた質問などをご紹介しますと思います。

パネラーの紹介



相崎佐和子
伊丹市議会議員



島津はるか
高砂市議会議員



平田まみ
小野市議会議員



児玉ちあき
高浜町議会議員



斉藤れいな
東京都議会議員

当日の流れ

暮らしの色々な
問題も話し合っ
て市の政治の方針も
決める!



私たちがその質問に答えます!

第1部では議員の仕事についてご紹介

第2部では会場で頂いた質問を議員たちが回答

質問内容

当日は質問カードを利用し、記入形式で質問を頂きました。
特に多く頂いた質問と答えについて一部ご紹介いたします！



【Q】前職は何をしていて、なぜ議員を目指したの？

【A】

・百貨店で販売員をしていました。4年前に兵庫県議の号泣会見をみた時に、政治家に対して強い不信感を感じ“ちゃんと政治やってよ”ずっと思っていました。だけど、「誰か任せに文句を言うんじゃないで、私がしないと！」と想い立候補を決意しました。（平田まみ小野市議）

・アーティストとして毎年渾身のアルバムを作って全国ツアーで回っていたけれど、年々ファンの幸福度が下がっているのがヒシヒシと伝わってきました。“歌だけじゃファンを幸せにできない!どうにかせねば!”と強い思いに駆られ立候補を決意しました。（斉藤れいな東京都議）

【Q】休日はありますか？

【A】

・基本的にはありません。（私の場合）議員は特別公務員の扱いで、ポジションに対しての報酬である。なので、何時から何時まで働く、休日の設定はありません。公務は基本的に行きけれどそれ以外の活動は自分で判断します。私の場合は家庭とのバランスを考えながら両立をしています。（相崎佐和子伊丹市議）



▲市内外から参加を頂きました。ありがたい限りです。



▲終始和やかな雰囲気の中イベントを開催しました。

【Q】女性議員でよかったこと、辛かったことは？

【A】

・女性議員でよかったことはたくさんあるけれど、現状は少数派であることで選挙で差別化が図れる。辛かったことは、“若い・女性”だけで有権者に信用されないことがあった事。また、議会でも男性中心であるため、女性として抱える課題に理解を示してもらえない事があった。（島津はるか高砂市議）

【Q】議員になってもデートはできますか？

【A】

・デート、してますよ!デートだけでなく、議員になってもスッピンで近所のスーパーに買物だっていきます。議員だからと決めつけられる必要はなく、議員になる前も後も私はわたしなんです。（児玉ちあき高浜町議）

【Q】女性議員が全国的にもまだまだ少ない現実をどう捉えている？

【A】

・小野市議会は全国をみても女性議員の割合は高いけれど、もっと増えたいと考えています。いろんな世代の方、いろんな性別の方、いろんな経験をもっている方が16人議員として選ばれるべきだと思います。（平田まみ小野市議）

★イベント開催を振り返り★

当日はやまぞのが想定していた以上のご質問を頂きました。質問からは女性議員であるからこそ聞いてみたい、という質問が多かったように感じました。それに対してパネラーの皆さんからはそれぞれエピソードや体験をお話しつつも、女性であるということこそまで普段意識せずに活動しているという姿勢が共通していました。参加者アンケートを拝見すると、「初めて女性議員の話聞くことができて良かった」「他市議員の方の問題点・考え方が聞けてよかった」「普段聞けない話が聞けてよかった!」のご意見を頂き、最初に私が掲げていた目的は一定達成できたと思います。「ギンって何だろう?」と距離を置かれるのではなく、今後も身近に感じられる議員として活動を続けて参りたいと思います。

